

令和3年度秋期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2021,12,17

10月10日(日)に行われた令和3年度秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、応用情報技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

■応用情報技術者試験 (AP)

[令和3年度秋期 応用情報技術者試験 統計情報]

応募者	48,270人
受験者	33,513人
合格者	7,719人
合格率	23.0%

今回の応用情報技術者試験の合格率は23.0%で前回の24.0%よりも1%下がりましたが、平成21年春期から始まる現在の試験制度では平均的な結果です。

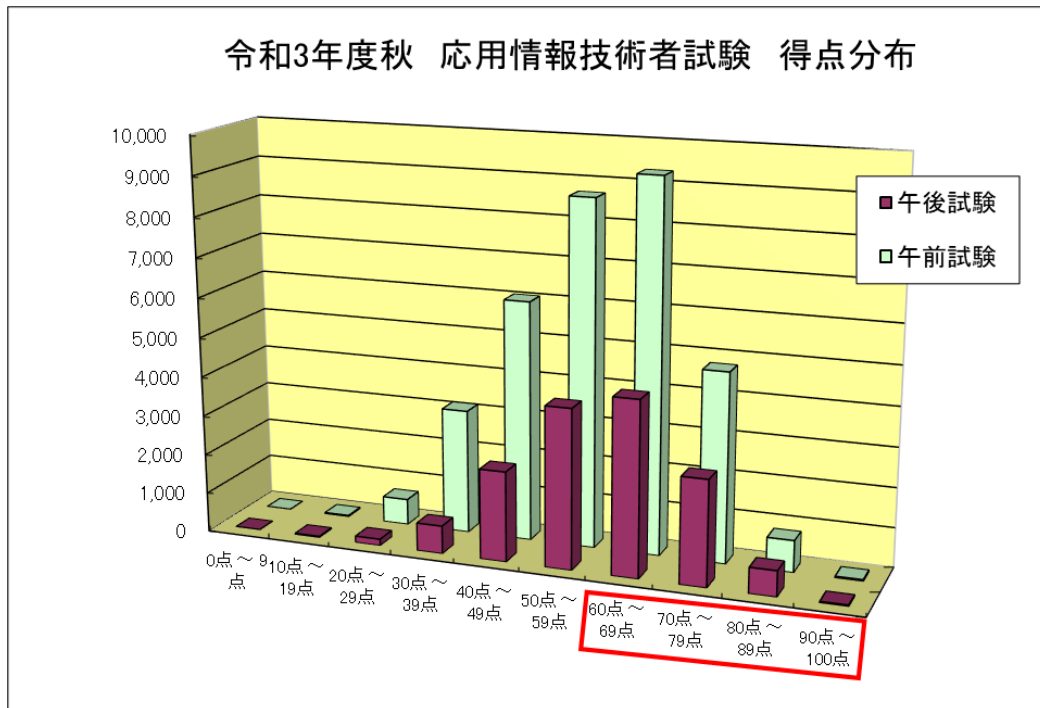
次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和3年度秋期 応用情報技術者試験 スコア分布]

令和3年度秋期 AP	応募者	受験者	合格者
人数	48,270	33,513	7,719
率		69.4%	23.0%

得点	午前試験	午後試験	合格者
0点～9点	3	7	
10点～19点	32	31	
20点～29点	656	162	
30点～39点	3,146	706	
40点～49点	6,055	2,269	
50点～59点	8,694	4,009	
60点～69点	9,312	4,390	
70点～79点	4,772	2,651	
80点～89点	803	644	
90点～100点	40	34	
計	33,513	14,903	7,719
対前試験比率		44.5%	51.8%
合格者数	7,719	採点者数の割合	合格者数との差
午前60点以上合計	14,927	44.5%	7,208
午後60点以上合計	7,719	51.8%	0

令和3年度秋 応用情報技術者試験 得点分布



今回の令和3年度秋期の午前試験では合格基準点の60点以上の方が14,927人で受験者の44.5%でした。前回の令和3年春期の試験結果の56.0%から、かなり下がりました。新傾向問題が増え、やや難しい問題が多かったことが影響したと思われます。

午後試験で合格基準点の60点以上を超えている人(合格者)は7,719人で、採点数の51.8%にあたります。前回の試験では43.0%で、こちらは少し上がりました。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で50点以上60点未満の人が8,694人(受験者の25.9%)、午後試験で50点以上60点未満の人が4,009人(同26.9%)と、どちらも全体の約3割の人が、あと10点で合格できるラインにいます。この得点ゾーンの方は、合格まで“あと一歩”のところにいるので、苦手と感じる分野を中心に早めに次の試験対策を始めてください。

■令和3年度秋期 応用情報技術者試験 出題内容について

(午前問題)

午前試験問題は、前回新傾向問題が少なく既出問題が多くて、全体として解きやすかったのですが、今回は新傾向問題が増え20問ありました。出題形式別に問題を見ると、文章問題が45問(前回より減)、用語問題が12問(前回より減)、計算問題が8問(前回より増)、考察問題が15問(前回より増)でした。既出の過去問題は平易な内容が多かったのですが、全体として前回よりも少し難しかったといえます。

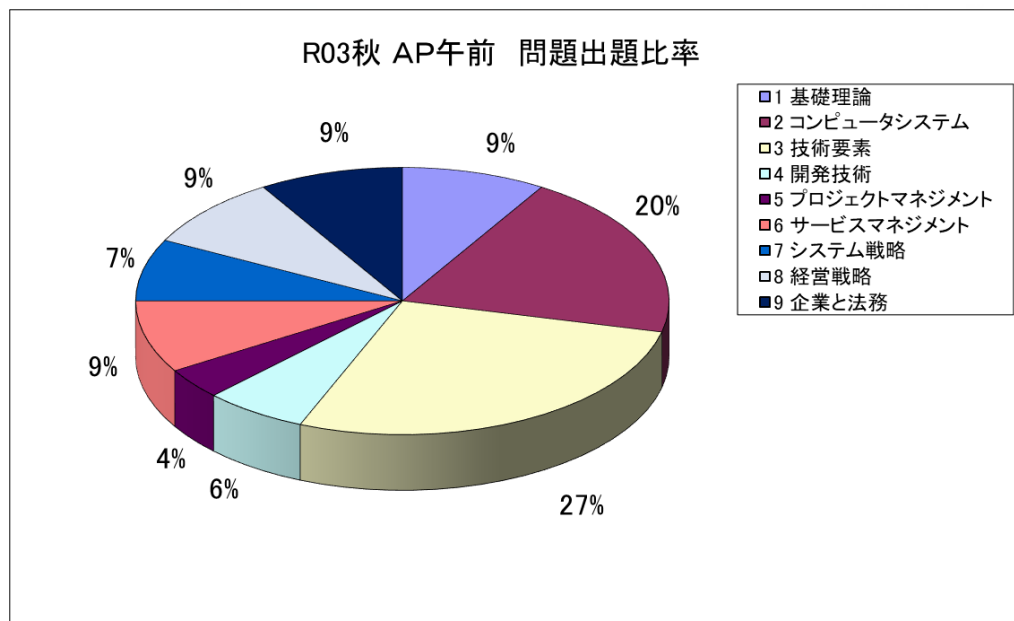
新傾向問題が増えましたが、過去問題も全体の6割強あり、既出テーマで新たに作成された問題が多かったといえます。なお、応用情報技術者試験の過去問再出題は27問(前回40問)、基本情報の過去問は6問(前回5問)ありました。また、高度午前Ⅱ試験の過去問題は14問(前回5問)あり、大幅に増えました。

新傾向または新しい用語に関する20問の問題は次のとおりです。他試験で既出の内容でもAPで初めて出題されたものも含めています。

- 問1 接線を求めることによる非線形方程式の近似解法
- 問7 Webプログラミングで用いられるスクリプト言語

- 問 8 16ビット整数の加算結果でオーバーフローしないもの
- 問 14 コンテナ型仮想化の説明
- 問 12 物理サーバの処理能力を調整するスケールインの説明
- 問 23 汎用入出力ポートに書き込む値
- 問 44 オープンリダイレクトを悪用した攻撃
- 問 37 IoTセキュリティガイドラインにおける対策例
- 問 38 脆弱性を通知された製品開発者の対応
- 問 40 IoTデバイスの耐タンパ性の実装技術と効果
- 問 45 DMZに移した制御ネットワーク内の機器
- 問 48 リファクタリング“継承の分割”を行ったクラス図
- 問 50 スクラムマスタが行うこと
- 問 51 フェーズ・ゲートの目的
- 問 58 アジャイル開発を対象とした監査の着眼点
- 問 61 テレワークで活用している VDI
- 問 64 テレワーク導入後5年間の効果
- 問 69 リーンスタートアップの説明
- 問 72 インターネットを介して単発の仕事を受託する働き方
- 問 80 特別条項を適用する36協定届の事例

令和3年度秋期 応用情報技術者試験 午前問題出題比率



(午後問題)

今回の午後試験問題は、必須の問1のセキュリティの問題がオフィスのセキュリティ対策というマネジメント系の内容で技術的な細かい知識は求められない内容といえました。問2以降の選択問題については、毎回2~3問は難しいといえる問題があるのですが、今回は特に難しいといえる問題はありませんでした。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験レベルの知識を確実に理解し、問題事例に適用できるよう、しっかり演習を行う必要があります。

- 問 1 オフィスのセキュリティ対策 (情報セキュリティ) 普通
- 問 2 食品会社でのマーケティング (経営戦略) 普通

- 問3 一筆書き（プログラミング） 普通
- 問4 クラウドストレージの利用（システムアーキテクチャ） 普通
- 問5 LANのネットワーク構成変更（ネットワーク） やや易
- 問6 企業向け電子書籍サービスの追加設計と実装（データベース） やや易
- 問7 IoTを利用した養殖システム（組込みシステム開発） 普通
- 問8 データ中心設計（情報システム開発） 普通
- 問9 家電メーカーでのアジャイル開発（プロジェクトマネジメント） 普通
- 問10 変更管理（サービスマネジメント） 普通
- 問11 システム構築プロジェクトの監査（システム監査） やや易

